



懇談会終了後の記念写真

大型クラゲ問題の
早期対策実現を！

知事と西北地区漁業者との懇談会（日本海地区）

三村県知事は、太平洋地区に次いで六月十四日、鯨ヶ沢町の県水産総合研究センターで、小泊漁協から大間越漁協で組織する西北水産振興会（山本政廣会長）や県漁業士会などの漁業者ら二十四人と、漁業に関する懇談会を行なった。

はじめに、県側から、県が掲げる攻めの農林水産業やつくり育てる漁業等、四項目の施策を漁業者に説明した。これに対し漁業者からは、人工海底山脈の造成や投石による藻場造りの要望等が出された。特に二年連続して来襲し、平成十五年に二十数億もの被害を出した大型クラゲ（エチゼンクラゲ）問題では、「情報収集に力を入れてほしい」「小さいうちから駆除できないのか」「県で買い取りしてほしい」等の対策を求める声が相次いだ。これらの声に対し、長谷川出納長から「対策等についてこれまで何度も国に陳情してきた。今後も積極的に働きかける」と答えた。最後に三村県知事から、「これからも皆さんの声を県政に反映させ、青森県の水産業が元気になるよう頑張りたい」と述べ、閉会した。



意見を述べる山本会長



県の考え方を述べる三村県知事